

2019年3月期決算説明会

2019年5月30日



FRANCEBED HOLDINGS

フランスベッドホールディングス株式会社

<https://www.francebed-hd.co.jp/> 証券コード：7840

- ◆ **2019年3月期 業績報告**
- ◆ **2020年3月期 業績見通し**
- ◆ **今後の主な取り組みについて**

2019年3月期 業績報告

1. 連結業績

【減収・減益（当期純利益は増益）】

(百万円)	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		計画	実績	計画 達成率	前期比 増減率
売上高	52,410	53,000	51,764	97.7%	▲1.2%
営業利益	2,606	2,800	2,363	84.4%	▲9.3%
経常利益	2,606	2,730	2,361	86.5%	▲9.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,806	1,700	2,599	152.9%	+43.9%

■ 1株当たり当期純利益 66.02円

2. セグメント別損益

メディカルサービス事業は増収・増益、インテリア健康事業は減収・赤字転落

		2018年3月期 実績	2019年3月期			
			計画	実績	計画 達成率	前期比 増減率
メディカル サービス 事業	売上高	29,484	30,350	29,744	98.0%	+0.8%
	営業利益	2,235	2,360	2,457	104.1%	+9.9%
インテリア 健康事業	売上高	19,507	19,350	18,742	96.9%	▲3.9%
	営業利益	314	400	▲175	—	—
その他	売上高	3,419	3,300	3,277	99.3%	▲4.1%
	営業利益	23	10	63	630.0%	+167.9%
調整額	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	32	30	18	60.0%	▲41.6%
合 計	売上高	52,410	53,000	51,764	97.7%	▲1.2%
	営業利益	2,606	2,800	2,363	84.4%	▲9.3%

3. メディカルサービス事業の概況

(百万円)	2018年3月期 実績		2019年3月期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	29,484	100%	29,744	100%	+260	+0.8%
営業利益	2,235	7.5%	2,457	8.2%	+221	+9.9%
介護関連 レンタル売上※	15,278	51.8%	16,107	54.1%	+828	+5.4%
病院施設向け 物件取引※	4,821	16.4%	4,183	14.1%	▲637	▲13.2%
その他※	9,390	31.8%	9,459	31.8%	+70	+0.7%

※水色の網掛部分の実績、構成比は、事業会社のフランスベッド(株)単体の数値です。

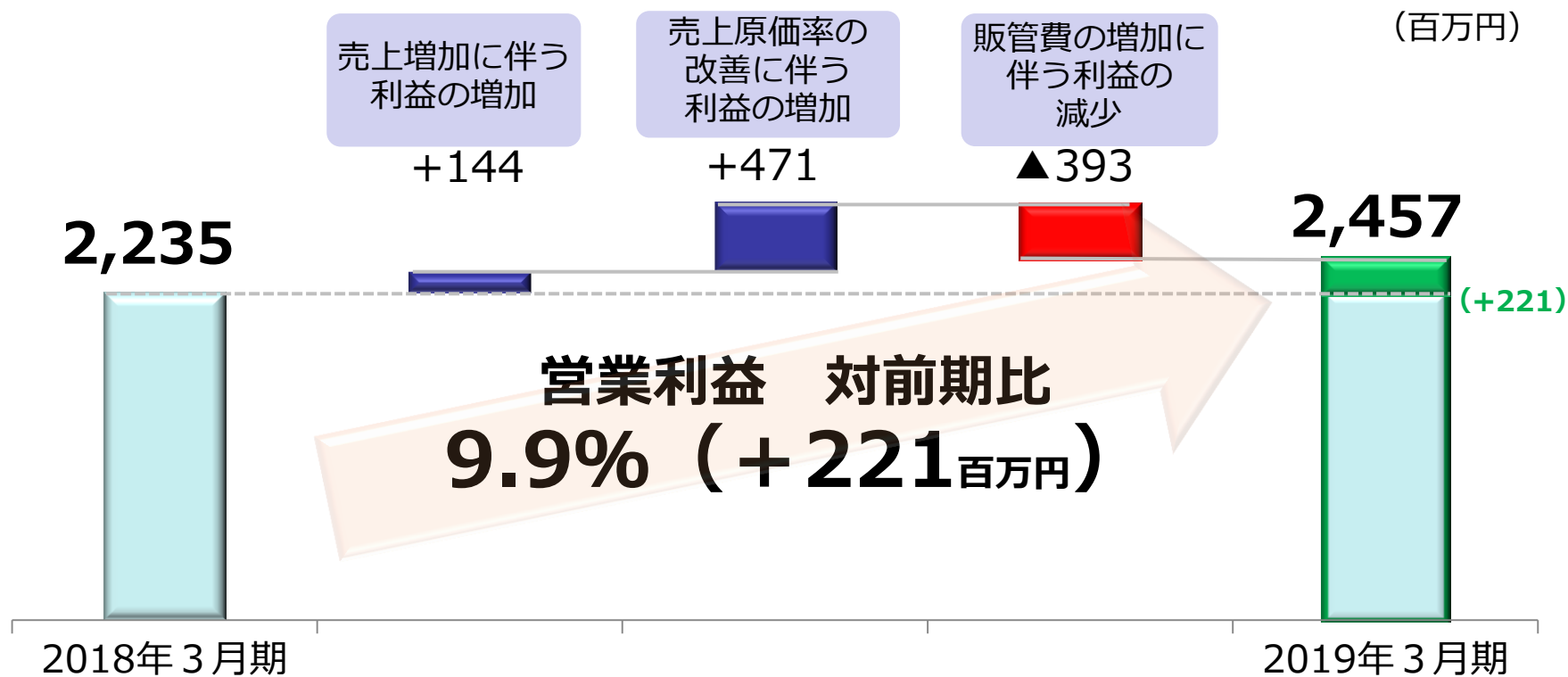
【売上高増収要因】

- ・ 病院・福祉施設向け販売部門が苦戦したものの、特長のある製品の販売・レンタルが伸びたことにより、主力の福祉用具貸与事業が好調に推移した結果、セグメント全体では増収。

【営業利益増益要因】

- ・ 販売費及び一般管理費は増加するも、増収効果等により増益。

4. メディカルサービス事業の営業利益増減要因



<営業利益増益の主要因は売上の増加>

- ・ 売上が増加した主要因：主力である福祉用具貸与事業の好調
（「自動寝返り支援ベッドFBN-640」など、特長のある製品の販売・レンタルが堅調に推移）
- ・ 販管費が増加した主要因：人員増に伴う人件費などの増加

5. インテリア健康事業の概況

(百万円)	2018年3月期 実績		2019年3月期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	19,507	100%	18,742	100%	▲764	▲3.9%
営業損益	314	1.6%	▲175	—	▲490	—
ホテル向け売上※	1,893	—	2,112	—	+219	+11.6%

※水色の網掛け部分の数字は、事業会社のフランスベッド(株)単体の数値です。

【売上高減収要因】

- ・ホテル向け販売は好調に推移するも、売上の約6割を占める家具販売店向け売上が苦戦。

【営業損益赤字転落要因】

- ・売上減少のほか、物流費の高騰に加え、資産除去債務関連費用の計上等により費用が増加。

6. 連結貸借対照表

(百万円)	前期末※ (2018年3月期末)	当期末 (2019年3月期末)	前期末比 増減額
流動資産	32,739	34,946	2,207
固定資産	32,362	28,235	▲ 4,127
繰延資産	38	74	35
資産合計	65,140	63,256	▲ 1,884
流動負債	17,346	16,915	▲ 430
固定負債	6,909	8,132	1,223
負債合計	24,256	25,048	792
株主資本	34,628	35,262	633
その他の包括利益累計額	6,255	2,945	▲ 3,310
純資産合計	40,884	38,207	▲ 2,677
負債純資産合計	65,140	63,256	▲ 1,884
自己資本比率	62.7%	60.4%	▲ 2.3pt

※前期末の総資産及び自己資本比率は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しているため、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっている。

連結貸借対照表の状況 (総資産は前期末比▲1,884百万円減少し、63,256百万円)

- ①資産の部 (▲1,884百万円) ■流動資産 (+2,207百万円) ■固定資産 (▲4,127百万円)
- ②負債の部 (+792百万円)
- ③純資産の部 (▲2,677百万円)
- ④自己資本比率 : 60.4% (▲2.3pt)

7. キャッシュ・フローの状況

(百万円)	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物期首残高	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期末残高
2018年3月期	4,674	▲3,582	▲1,487	13,648	▲394	13,254
2019年3月期	9,786	▲7,147	▲1,905	13,254	733	13,988
前期比	+5,111	▲3,564	▲418	▲394	+1,128	+733

連結キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物残高は13,988百万円。前期末比+733百万円。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー (9,786百万円の収入)

(収入) 税金等調整前当期純利益4,175百万円、減価償却費4,190百万円、売上債権の回収735百万円、退職給付信託からの返還6,000百万円、など
(支出) 法人税等の支払額2,319百万円、など

② 投資活動によるキャッシュ・フロー (7,147百万円の支出)

(収入) 有形固定資産の売却による収入167百万円、など
(支出) 有形固定資産の取得4,836百万円、定期預金の預入2,000百万円、投資有価証券の取得251百万円、など

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー (1,905百万円の支出)

(収入) 社債の発行2,938百万円、セール・アンド・リースバックによる収入2,621百万円、など
(支出) 社債の償還3,450百万円、自己株式の取得987百万円、ファイナンス・リース債務返済2,036百万円、配当金の支払額992百万円、など

2020年3月期 業績見通し

1. 連結損益計画

【増収・増益（当期純利益は減益）の計画】

(百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	前期比増減率
売上高	51,764	53,000	+2.3%
営業利益	2,363	2,800	+18.4%
経常利益	2,361	2,800	+18.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,599	1,800	▲30.7%
1株当たり 当期純利益(円)	66.02	45.82	—

2. セグメント別損益計画

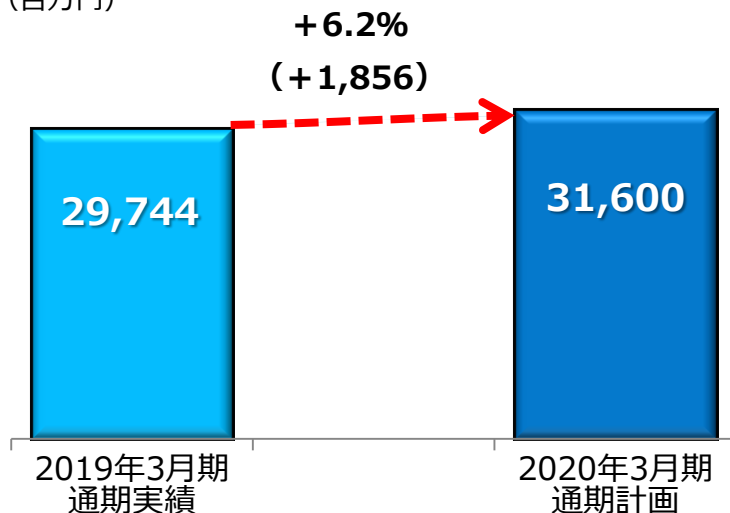
(百万円)		2019年3月期				2020年3月期	
		セグメント別実績※				計画値 (新セグメント)	前期比 (セグメント情報 開示区分変更後)
		変更前		調整	変更後		
医療サービス事業	売上高	29,744			29,744	31,600	+6.2%
	営業利益	2,457			2,457	2,570	+4.6%
インテリア健康事業※	売上高	18,742		+2,329	21,071	21,000	▲0.3%
	営業利益	▲175		+104	▲71	200	—
その他※	売上高	3,277		▲2,329	948	400	▲57.8%
	営業利益	63		▲118	▲55	0	—
調整額※	売上高	—		—	—	—	—
	営業利益	18		+15	33	30	▲9.1%
合計	売上高	51,764			51,764	53,000	+2.3%
	営業利益	2,363			2,363	2,800	+18.4%

※当期よりセグメント情報等の開示区分の変更（前年度中に日用品雑貨販売事業から撤退したことに伴い、「その他」の一部をインテリア健康事業へ移管）を行う予定であり、それに伴い、2019年3月期実績も、医療サービス事業を除き、前年遡及したものになっている。

3. メディカルサービス事業の見通しと主な取り組み

売上高

(百万円)



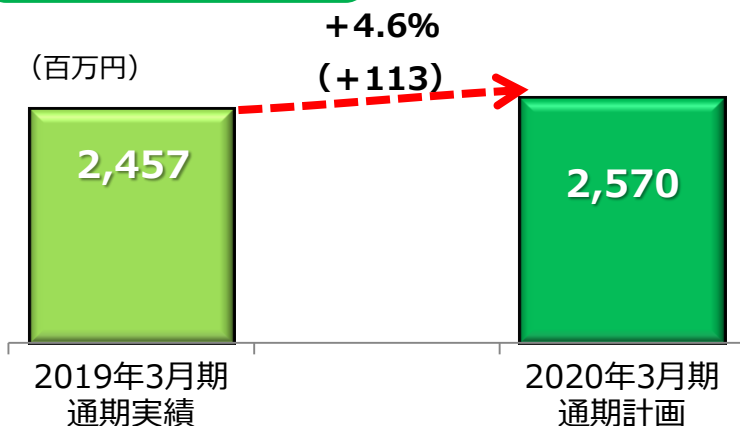
【2020年3月期 通期計画】
売上高：31,600百万円
 (前期比6.2%増)
営業利益：2,570百万円
 (前期比4.6%増)

主な施策

**シルバービジネスの更なる強化
 (前期からの継続)**

営業利益

(百万円)

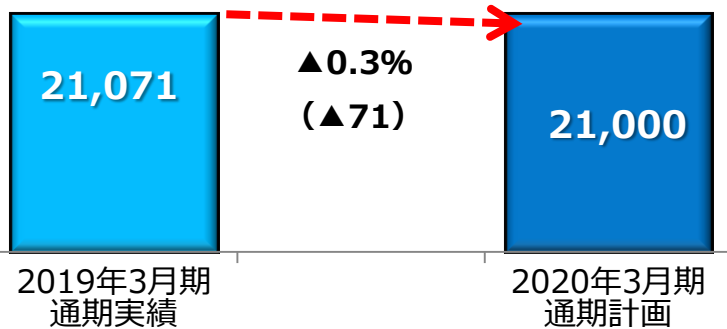


- ① **福祉用具貸与事業のシェア拡大**
 - ・ 営業拠点の拡大、M&Aの推進
 - ・ 労力軽減・省力化に繋がる商品などの開発と拡販
- ② **病院・施設向け販売等の業績回復**
 - ・ 労力軽減・省力化に繋がる商品の開発と拡販
 - ・ 病院・施設等法人向けリース/レンタル事業の開始

4. インテリア健康事業の見通しと主な取り組み

売上高

(百万円)



【2020年3月期 通期計画※】

売上高：21,000百万円

(前期比 0.3%減)

営業利益：200百万円

(前期は営業損益▲71百万円)

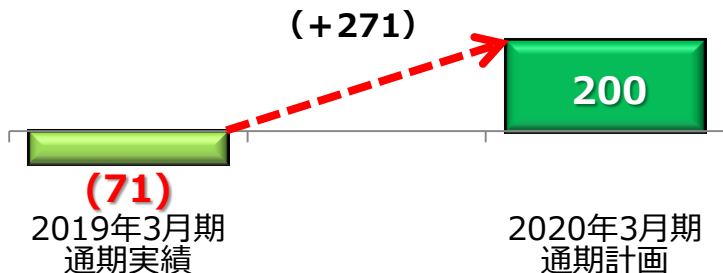
主な施策

収益性の改善

(「量から質」への転換、赤字からの脱却)

営業利益

(百万円)



① 販売戦略の見直し

- ・ 家具販売店以外の新規販路の開拓
- ・ 自社ショールームの活用

② 徹底した費用の削減

- ・ 成長分野への経営資源の再配置
- ・ 粗利率の改善

※当期よりセグメント情報等の開示区分の変更（前年度中に日用品雑貨販売事業から撤退したことに伴い、「その他」の一部をインテリア健康事業へ移管）を行う予定であり、それに伴い、2019年3月期実績も、メディカルサービス事業を除き、前年遡及したものになっている。

5. 設備投資について

(百万円)		2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期計画
設 備 投 資 額	レンタル資産	3,155	3,767	3,800
	工場生産・物流設備	352	534	400
	サービスセンター	10	699	20
	ソフトウェアの取得	298	216	200
	その他	82	390	100
(合 計)		3,898	5,606	4,520
減価償却費		3,886	4,190	4,300

<主な設備投資実績および計画>

2019年3月期 通期実績

■ レンタル資産取得：3,767百万円（メディカルサービス事業）（前期比+612百万円）

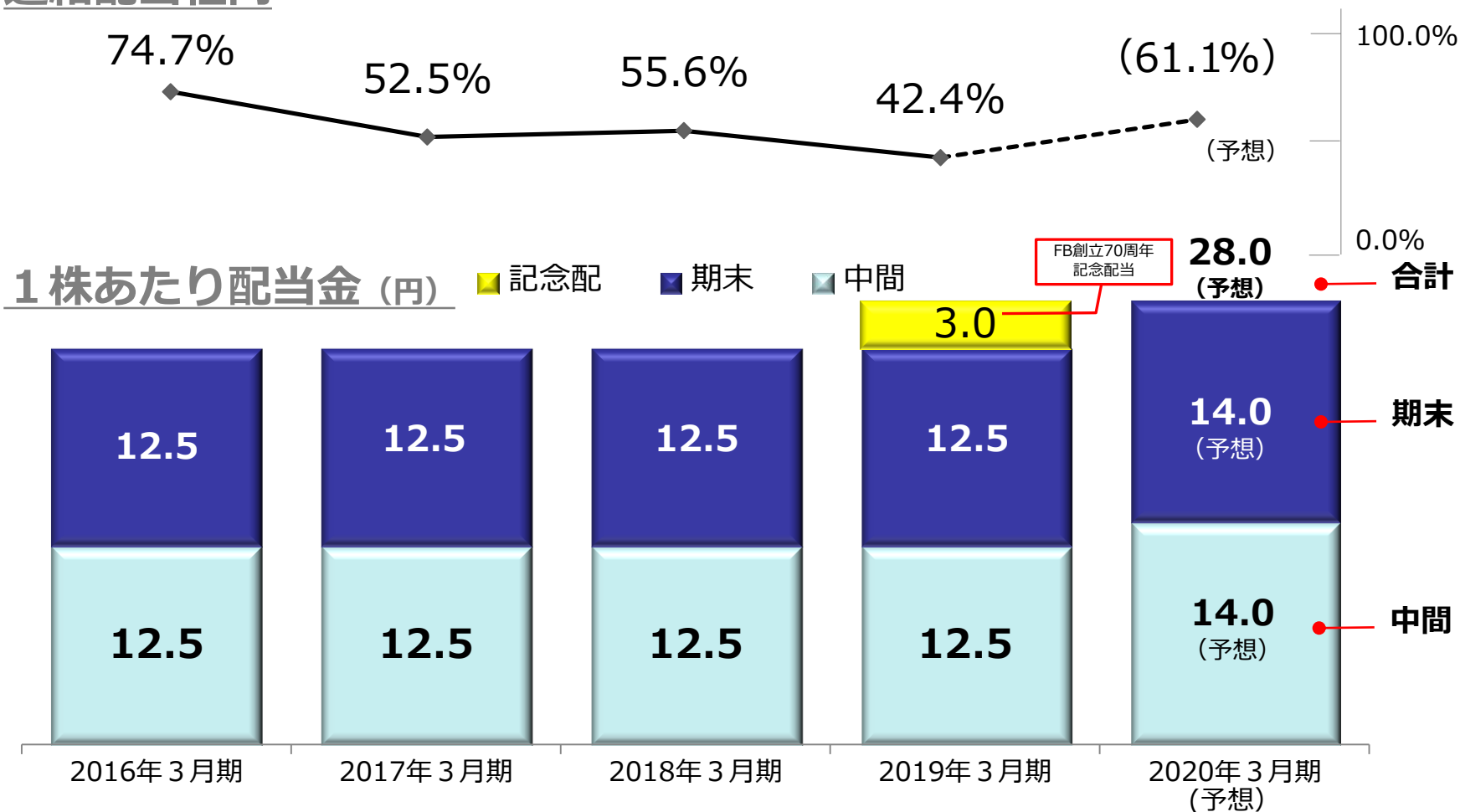
2020年3月期 通期計画

■ レンタル資産取得：3,800百万円（メディカルサービス事業）（前期比+33百万円）

6. 配当について

● 1株あたり配当金と連結配当性向の推移

連結配当性向



**2019年3月期は記念配として3円増配を予定。
2020年3月期は年間配当28円の予想**

今後の主な取り組みについて

1. メディカルサービス事業

2. インテリア健康事業

3. その他（レンタルビジネスの拡大）

1. メディカルサービス事業

① 福祉用具貸与事業のシェア拡大

◆ 営業拠点の拡大

※ 直近での営業所の新規出店

- ・ メディカル埼玉中央営業所 { 埼玉県 (2019年4月開設) }
- ・ メディカル清水営業所 { 静岡県 (2019年5月開設) }

86営業所
(2019年5月末現在)



89営業所
(2019年9月末計画)



95営業所
(2021年3月末計画)

◆ M & A の推進

- ・ 後継者問題を抱える事業者などがM & Aの主なターゲット

1. メディカルサービス事業

◆ 「省力化」や「労力軽減」につながる商品などの開発と拡販

- ・ 「自動寝返り支援ベッド」など、特長のある商品のレンタル及び販売促進



自動寝返り支援ベッド
FBN-640



マルチフィットベッド
(2019年3月発売/レンタル
開始)



超低床フローアーベッド
ショートサイズ
(参考商品)

1. メディカルサービス事業

②病院・施設向け販売等の業績回復

◆「省力化」や「労力軽減」につながる商品の開発と拡販

- ・病院・施設等の新設/入替のベッド需要の獲得
- ・各自治体等主催の「介護ロボット導入支援事業」などを活用した販売

◆病院・施設等法人向けリース/レンタル事業の開始

- ・設備投資が難しい医療機関・法人施設等へのB to Bレンタル事業の開始



自動寝返り支援ベッド
FB-640A



見守りケアシステム
M-2



ナースステーション

2. インテリア健康事業

◆ ネット販売、異業種など販路開拓のための商品の開発



コンパクトワン
(分割式ベッドフレーム)



フォールドエア™
(3つ折り対応マットレス)
(2019年3月発売開始)



高密度連続スプリング®
ポルテ R-zero
(ロール梱包マットレス)



モダン仏壇「メモリーナ」
(2019年2月発売開始)



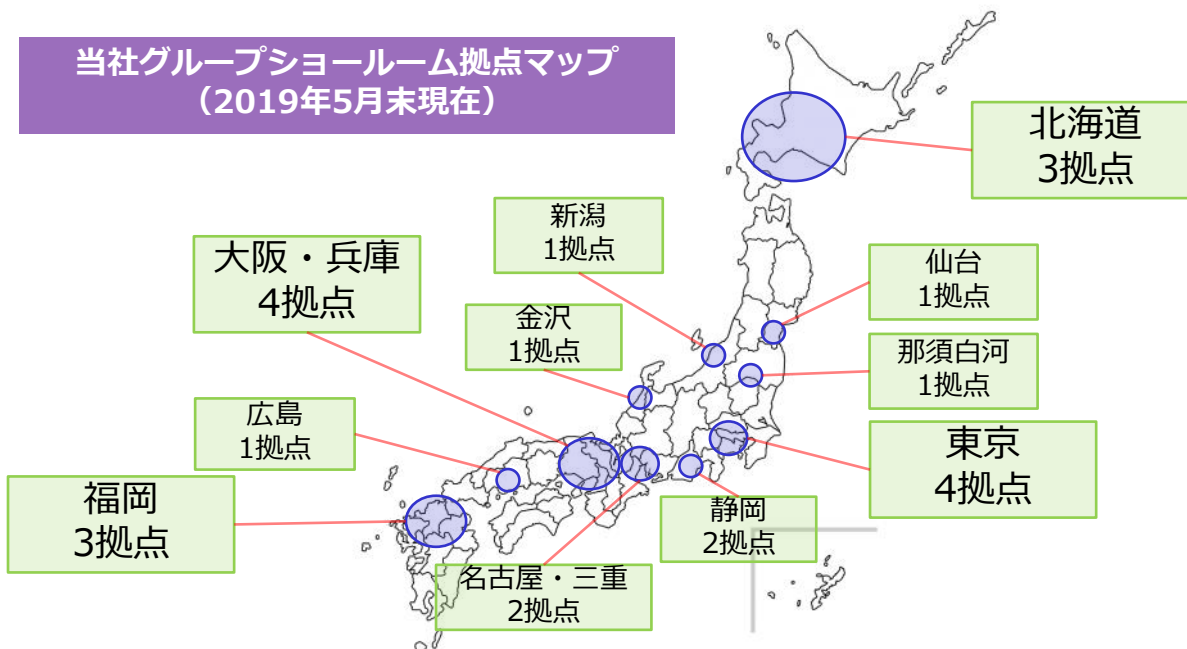
ペット向け商品
(開発中)

2. インテリア健康事業

◆ 自社グループショールームを増設し、取引先と協業した第2の売り場として活用

＜自社グループショールーム数（催事場等含む）増設目標＞

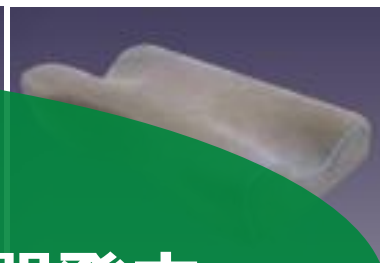
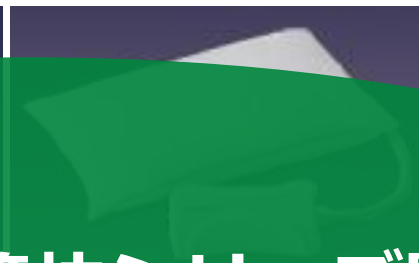
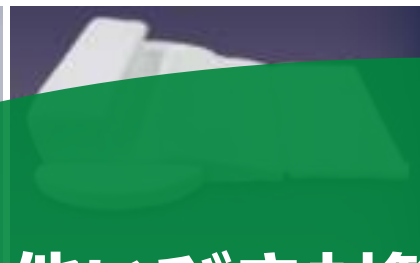
23拠点（2019年5月末現在） ⇒ **27**拠点（2021年3月期計画）



2. インテリア健康事業

◆睡眠に関するお悩みに対応した商品の開発

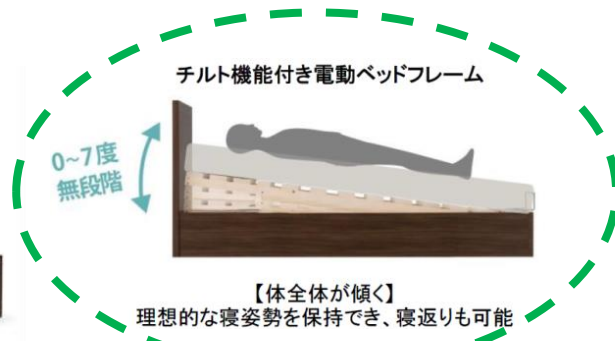
・【いびき対策枕】シリーズ



その他いびき対策枕シリーズ開発中

スリープバンテージ
ドクター
(横向き枕の
スタンダード)

・【チルト機能付き電動ベッドフレーム】 (就寝時の胃液の戻りを起こしにくくする)



2019年5月
発売開始

3. その他（レンタルビジネスの拡大）

◆当社が保有する「レンタル」のノウハウやシステムを活用し、レンタルビジネスの範囲を拡大する

福祉用具貸与部門、リネンサービス部門、等
(既存レンタル事業)

※現在は全体の売上の
約37%

病院施設向けレンタル (B to B)

ホテル向けレンタル (B to B)

一般向け家具レンタル (B to C)

新規取組

<将来の目標>

レンタル売上を増加させ、売上構成比として、レンタル売上50%、販売売上50%を目指していく

3. その他（レンタルビジネスの拡大）

◆ホテル向けレンタル事業の開始



ニューフォールディングベッド
(エキストラベッド)

その他レンタル商品開発中



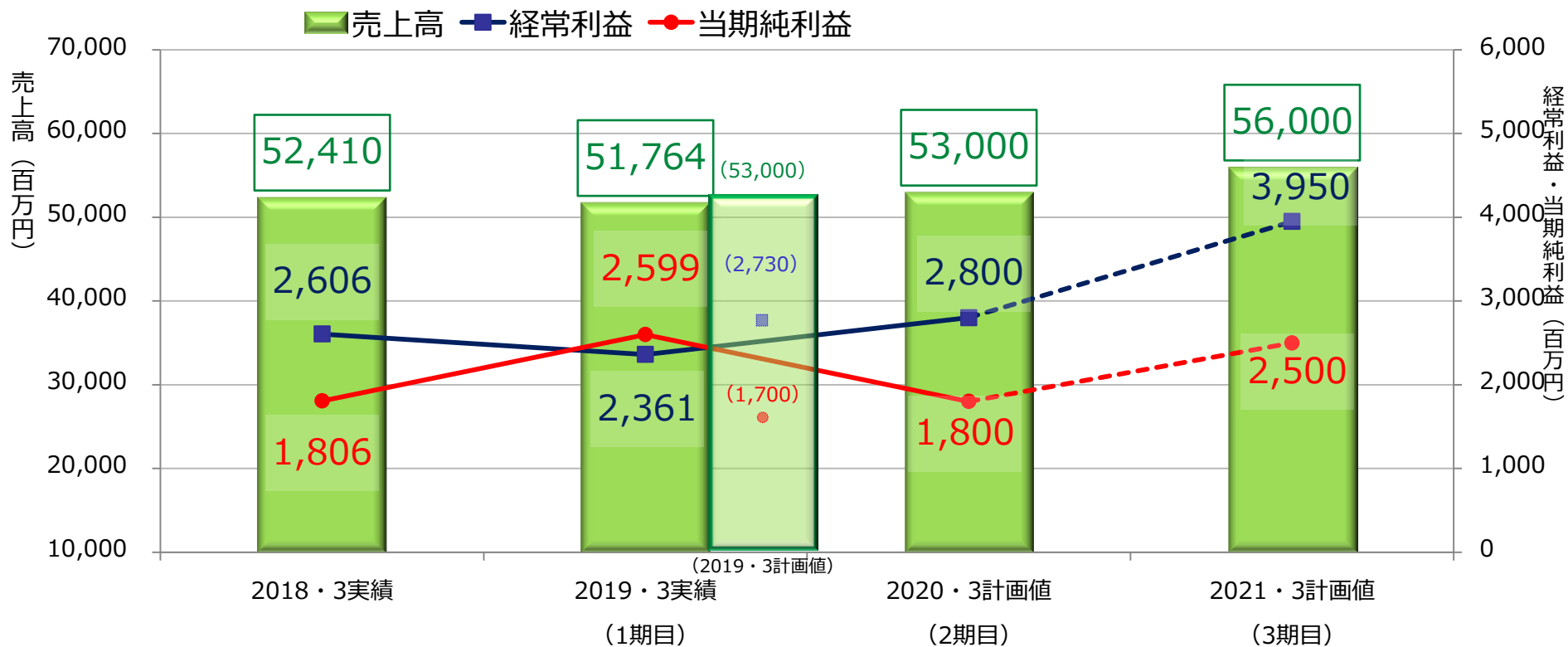
質疑応答



参考資料

参考資料（中期経営計画進捗状況）

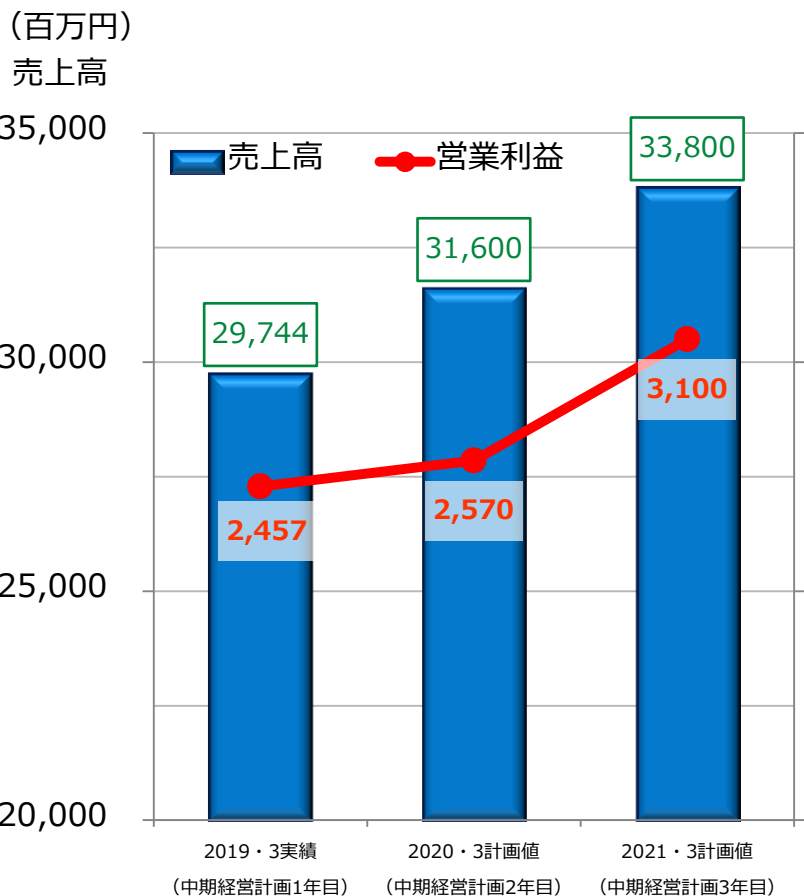
- ・ 計画1期目は、インテリア健康事業の不振により、売上・利益とも計画未達。
- ・ 計画2期目は、メディカルサービス事業のさらなる拡大とインテリア健康事業の収益性改善等により、増収増益を目指す。
- ・ 計画3期目（中期経営計画最終年度）は、メディカルサービス事業において、M&A等により成長を加速することで達成を目指す。



参考資料（中期経営計画進捗状況）

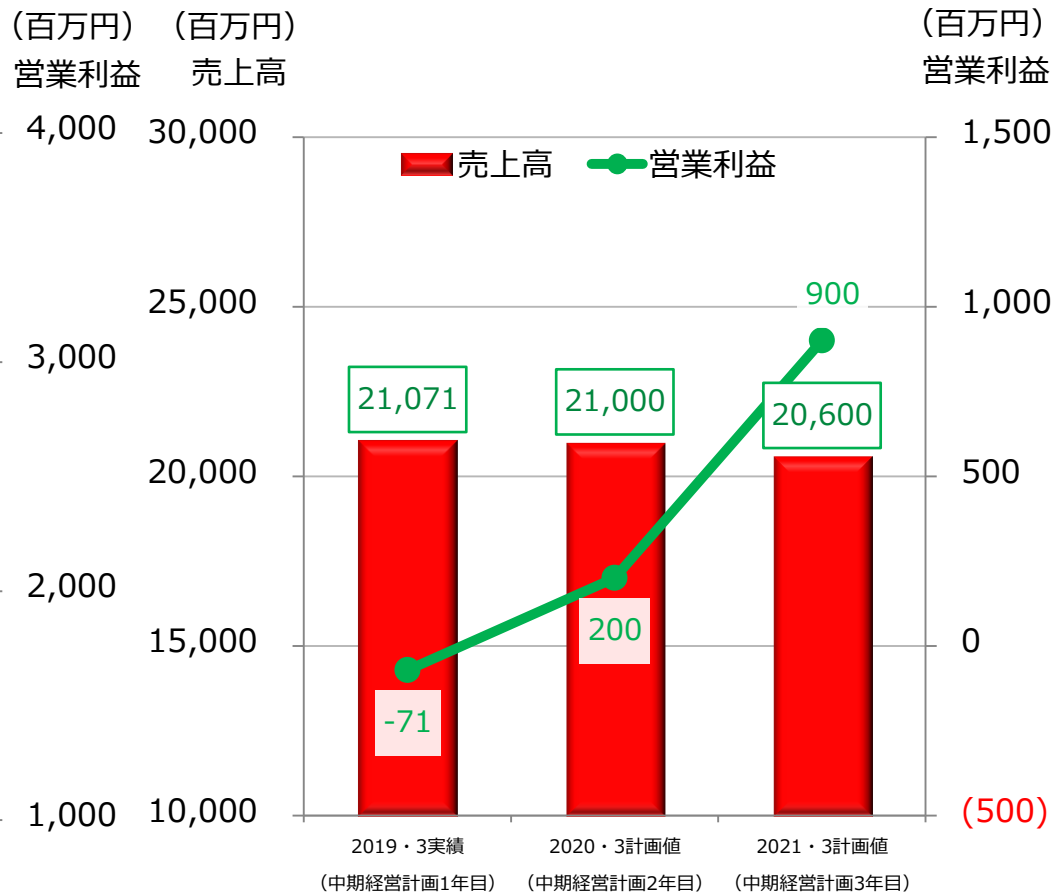
メディカルサービス事業

シルバービジネスの更なる強化



インテリア健康事業※

収益性の改善



※当期よりセグメント情報等の開示区分の変更（前年度中に日用品雑貨販売事業から撤退したことに伴い、「その他」の一部をインテリア健康事業へ移管）を行う予定であり、それに伴い、2019年3月期実績も、メディカルサービス事業を除き、前年遡及したものになっている。

(問合せ先)

経営企画室 Email: ir@francebed-hd.co.jp

(将来見通しに関する注意事項)

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。
また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M & Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力